

# ソロモン

## <2005年の注目すべきポイント>

- ・民族的な紛争により中断していた Gold Ridge 金鉱山再開の動きがある。
- ・総選挙後の暴動による政情不安が鉱山開発・探鉱投資に与える影響（現状は大きなプロジェクトの遅れ等の影響は出ていない）を注視する必要がある。
- ・中国は、南太平洋島嶼諸国への経済援助を表明する等、中国資本の鉱山開発・探鉱投資の動向には注目すべきである。

## 1. 非鉄金属一般概況

### (1) 一般概況

ソロモン諸島国は、パプアニューギニアの東に位置し、南太平洋の10以上の島々からなる国である。ソロモン諸島の人口は、552,438人（2006年7月推定）で、主としてメラネシアン（95%）と少数のポリネシアン、ミクロネシアンから構成され、中国人と欧州人のコミュニティがある。人口の中心はガタルカナル島とマライタ島で、歴史的にガタルカナル島にプランテーションがあったことからマライタ島から移住している。

ソロモン諸島国の首都はホニアラで面積は28.5km<sup>2</sup>で大部分は山岳地帯で森林に覆われている。

出典) \* CIA -The World Factbook- Solomon Islands

\* Department of Foreign Affairs and Trade- Country Information on Solomon Islands

### ① 政治

ソロモン諸島は1978年に英国から独立を成し遂げた。議会制民主主義で法体系は英国法をベースにしているが、その多くは守られていない。例えば慣習的な土地所有者がLand lawに関して特別な権利を持っている。国としての統治が弱く、度々民族的紛争と犯罪に悩まされている。

民族的な緊張は1998年ガタルカナルで、ガタルカナル島の伝統的住民がマライタ島からの移住者の影響力拡大と土地支配に怒って、民族中心主義的な武力組織、Isatabu Freedom Movement

(IMF)を結成し、マライタ島からの移民を排除し始めたことによる。これに対し20,000人のマライタンが首都ホニアラに流入し、1999年にMalaita Eagle Force (MEF)を結成し、ガタルカナル住民に対抗した。この紛争で時の首相Ulufa'aluが2000年6月に退陣に追い込まれた。オーストラリアは、2000年10月に平和交渉の手助けをしたが、無法状態が続いた。後継の政権は、2003年7月にオーストラリアの主導によるRegional Assistance Mission to Solomon Island (RAMSI)を含む外国の援助が実在するにもかかわらず法律と秩序を回復できていない。2006年4月選挙が行われ、5月4日にManasseh Sogavareが首相となった。

出典) \* CIA -The World Factbook- Solomon Islands

\* Department of Foreign Affairs and Trade- Country Information on Solomon Islands

### ② 経済

ソロモン諸島は、主として農業で生計を立てている社会で労働力の75%占める。主な輸出品は、木材、魚、ココアとコプラである。多くの工業製品と石油製品は輸入している。ソロモン諸島には未開発の鉛、亜鉛、ニッケル、金の鉱床がある。1998年の紛争以降、GDPは5年間で約24%減少した。主要な産業は閉鎖するか操業縮小し、輸出も凋落した。しかし、ここ3年間はRAMSIの経済再建の手助けにより、GDPの平均成長率が3年間で平均5.4%を超えている。

表 1. ソロモン諸島国の概況

指標/年度	2001	2002	2003	2004	2005
GDP (百万US\$) * <sup>1</sup>	1,419	1,347	1,384	1,420	1,454
GDP成長率 (%) * <sup>1</sup>	-9	-2.4	5.6	5.5	5.2
消費者物価指数 (%) * <sup>1</sup>	7.6	9.4	10.1	6.9	7.3
輸出額 (百万) * <sup>3</sup>				94.6	
鉱物資源の輸出額(百万) *					
為替レート (SID/US\$) * <sup>2</sup>	5.28	6.75	7.51	7.48	7.53

出典) \*1 DFAT

出典) \* CIA -The World Factbook- Solomon Islands

\*2 CIA The World Factbook

\* Department of Foreign Affairs and Trade- Country Information on Solomon Islands

\*3 Solomon Island Central Bank

## (2) 非鉄金属一般概況

ソロモン諸島内の鉱山は、Gold Ridge 金鉱山のみであった。同鉱山はF/Sが1996年に完成し、1997年6月に開発が始まり、1998年8月に最初の金が産出されたが、2000年6月に、部族間紛争により操業を停止して現在に至っている。

2005年5月、ソロモン諸島政府は、Australian Solomons Gold社によるGold Ridge 鉱山の権益取得を許可した。再開発のためのF/Sが2006年1月に始まり、2006年9月に完成することが予定されている。生産は推定150,000oz/年の金で、2007年開始を予定している。

## 2. 鉱業政策の主な動き

### (1) 鉱業法

Mines and Minerals Act 1990 (鉱業法) が、ソロモン諸島における鉱山開発の基本的な法規であり、所管官庁は鉱山エネルギー省 (Department of Mines and Energy) である。鉱業法は次のような鉱物探査活動に関して義務を課し、権利を認める。

探鉱ライセンスは、範囲が600km<sup>2</sup>、期間が3年を超えない範囲で認められる。ライセンス保有者は、その土地で、ボーリング、道路建設、ヘリポート建設、機械据付を含む独占的な探査を行う権利が与えられる。

探鉱ライセンスは、2年を超えない期間で、当初の探鉱ライセンス地域の半分を超えない範囲で更新することができる。Minerals Boardは、もし更新が国家にとって重要と考えられる場合はより大きな地域の更新を認定できる。

鉱業法は、探査ライセンスを発効するに当たり申請様式を決めている。申請書は鉱山エネル

ギー省に提出され、Minerals Boardで審査される。

Minerals Boardが、探鉱ライセンスの申請を受け入れた場合は、大臣のLOIが申請者に発行される。LOIを受け取った申請者は、土地所有者と地表の立ち入り権の交渉をする。土地所有者と合意に達したら、大臣は申請者に探鉱ライセンスを発行する。

探鉱ライセンスは、通常数多くの条件が付けられる。これらの条件は、定期的な貸借料の支払いと報告書提出を含む。条件に従わない場合は、探鉱ライセンスが没収されることがある。

### (2) 環境規制

環境影響評価のためには、鉱業法に基づき申請書をMinerals Boardに申請する。そこには、環境保護部 (Department of Environment and Conservation) からの代表もいて、Environment Act 1998に従うことが求められる。

森林破壊があるかどうか、探鉱ライセンスの申請書に要求されている復興がなされるかどうかアセスメントに必要なところである。

### (3) 土地アクセス

伝統的所有地に対するアクセスは、Customary Land Records Act (慣習的土地記録法) により規定される。

ソロモン諸島の土地は、慣習上の土地である。地方部族の人々によって所有されており、譲渡とか外国人の介入の対象にならない。よくわかっていない多くの部族と文化がソロモン諸島には存在する。

鉱業法の規定によって、探鉱活動が行われる

土地においては、慣習上の土地所有者との契約が必要である。鉱山エネルギー省 (Department of Mines and Energy) が探鉱ライセンスの申請者に探査対象の土地の慣習上の所有者を特定について問い合わせる。土地所有者が特定されたら、鉱業法に従い、慣習上の土地所有者と地表に立入りする契約を行う。

オーストラリアのネイティブタイトルと同様に、慣習上の土地の境界と所有権について指導することには限界がある。

慣習上の土地所有者と、所有権、境界または土地に付属している権利を巡って論争となった場合は、訴訟は地方の Council of Chiefs で行われる。

Council of Chiefs がその地域の慣習法に従

って論争を決着するが、この決定に不満のあるときは Local Court (地方裁判所) に不服申請をする権利があり、そこから Customary Land Appeal Court に上告できる。Customary Land Appeal Court の決定が最終決定である。

#### (4) 外国投資関連法

ソロモン諸島で探鉱に従事する会社は、同国の法人組織にするか Companies Act (会社法) に従って海外法人として登録しなければならない。探鉱会社は操業を始める前にソロモン諸島の投資委員会 (Investment Board) で承認を得ることが必要である。探鉱会社はソロモン諸島でビジネスを始める条件として、関係地方議会によって発行されたビジネスライセンスを所有していなければならない。

表 2. ソロモン諸島国の主な鉱業関連法規

カテゴリー	法規	所管官庁
探鉱・採掘	Mines and Minerals Act Mines and Minerals Regulation	Department of Mines and Energy (Ministry of Natural Resources)
環境	Environmental Health Act	Department of Environment and Conservation (Ministry of Natural Resources)
土地アクセス	Customary Land Records Act Forest Resources and Timber Utilisation Act Interpretation and General Provisions Act Land Titles Act	
外国投資		Investment Board (Ministry of Foreign Affairs, Commerce and Tourism)
労働		Commissioner of Labour (Ministry of Foreign Affairs, Commerce and Tourism)
入国管理		Department of Immigration (Ministry of Foreign Affairs, Commerce and Tourism)

出典：“Compliance Guide, Mineral Exploration Solomon Islands”, 04/06, Blake Dawson Waldron Lawyers (prepared for JOGMEC)

### 3. 主要鉱山物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 鉱石生産

現在、操業中の鉱山はない。

表 3-1. ソロモン諸島国の主要鉱石生産

鉱種		1998	1999	2000 (6月末)	備考
金粗鉱量	(000t)	611	2,529	611	2001年以降生産なし
金品位	(g/t)	2	1.54	2.35	
金含有量	(oz)	45,487	111,115	49,988	
銀含有量	(oz)	47,143	68,021	11,950	

(2) 地金生産

現在、操業中の製錬所はない。

(3) 消費

詳細不明。

(4) 輸出入

輸出入額、品目、相手国については表のとおり。非鉄金属鉱物・地金等については詳細不明。

表 3-2. ソロモン諸島国の主要産物の輸出

項目	内容
輸出額 (2004est) *1	94.6百万US\$
輸入額 (2004est) *1	70.2百万US\$
輸出品目 *2	木材、魚、コプラ、パーム油、ココア
輸入品目 *2	食品、プラント設備類、製造品、燃料、化学品
輸出相手国 (2004) *3	中国 (26%)、韓国 (16%)、タイ (15%)、日本 (9%)、フィリピン (5%)
輸入相手国 (2004) *3	オーストラリア (24%)、シンガポール (23%)、ニュージーランド (8%)、フィジー (5%)、PNG (5%)

出典：\*1 Solomon Island Central Bank、\*2 SOPAC Web サイト、\*3 CIA The World Factbook

(5) 我が国との貿易

我が国へのソロモン諸島からの輸出は、中国、

韓国、タイに次いで4番目、全体の9%を占める。

主要輸出品目に非鉄鉱物資源は含まれていない。

表 3-3. ソロモン諸島国の主要産物の対日貿易

項目	内容
輸出額 (2004)	19.8億円
輸入額 (2004)	5.9億円
輸出品目 (%)	魚類 (63)、木材 (33)
輸入品目 (%)	自動車 (37)、機械類 (42)
直接投資	22件 76億円 (04年度までの累計)

出典：外務省「各国・地域情報」Web サイト

4. 鉱山会社活動状況

① Michelago 社

1996年にオーストラリア証券取引所 (ASX) に上場、NSW州などで探鉱を実施。2003年には中国で Jinya 金プロジェクトの権益 60%を取得したのはじめ、Big Gold 金プラント (Laozhou) 及び山東省での探査プロジェクトの権益 51%を取得するなど中国でのプロジェクト展開を図っている。

ソロモン諸島では、再開が期待される Gold Ridge 金鉱山を保有する Australian Solomon's Gold 社の権益 41%を保有する。

② Australian Solomon's Gold 社

Michelago 社が Australian Solomon's Gold 社の権益 41%を保有する。2000年以降操業を停止していた Gold Ridge 金鉱山の権益を取得し、2006年中頃を目処にトロント株式市場へ上場を目指している。

表 4. ソロモン諸島国で活動する主要企業の概要(2005)

会社名	売上げ	税引き後純利益	総資産	株式時価総額	探鉱費
Australian Solomons Gold	-	-	-	-	-
Micherago	633, 873	▲ 3, 908, 214	26, 020, 985	40, 757, 520	2, 058, 824
Solomon Gold plc	68	▲ 126	2, 959	1, 341, 250	644, 195

出典：各社年次報告、Web サイト

## 5. 鉱山・製錬所状況

### (1) 主要鉱山

操業中の鉱山はない。

Gold Ridge 金鉱山は、Delta Gold 社によって操業されていたが、2000年に発生した部族間紛争により操業を停止していた。

その後、Australian Solomon's Gold 社

(Michelago Ltd(本社シドニー)権益 41%) が同鉱山を取得し、2006年中頃を目処にトロント株式市場へ上場することとし、F/S 調査を計画している。

鉱山寿命は約 10 年、当初 5 年間の生産量は 15 万 oz と見込まれている。(詳細は「非鉄メジャー・ジュニアの探鉱動向」参照)

表 5-1. ソロモン諸島国の主要鉱山の生産量

単位：oz

プロジェクト名	位置	権益	2004品位	2005	備考
Goldridge	Honiara, 27km SE	Australian Solomons Gold 100% (Michelago (Aus) (41%))	生産なし	生産なし	

出典) MinMet

(参考) Goldridge 鉱山の過去の生産動向(金)

生産量	位置	権益		1998	1999	2000 (6月末)
金生産(oz)	Honiara, 27km SE	Delta Gold 100%		45, 487	111, 115	49, 988
銀生産(oz)				47, 143	68, 021	11, 950
粗鉱量(千t)				611	2, 529	611
金品位(g/t)				2	1. 54	2. 35

表 5-2. ソロモン諸島国の主要鉱山の埋蔵量・資源量

shigenn	州	権益 (%)	区分	鉱量(000t)	品位	金量
Goldridge	Honiara, 27km SE	Australian Solomons Gold (Michelago (Aus) (41%))	Proven Probable	25, 180	Au 1. 97g/t	1, 594, 95oz
			Measured Indicated Inferred	39, 210	Au 1. 90g/t	

### (2) 非鉄メジャー・ジュニアの探鉱動向

#### ① Gold Ridge プロジェクト

位置：ホニアラ 27km SE of

権益：Michelago Ltd. (Acquiring), Ausenco Resources Pty Ltd. (Acquiring), Societe Generale Asset Management (Acquiring), Resource Capital Fund III LP (Acquiring), American Home Assurance Company (operator) 100%

鉱種：金

開発段階：フィジビリティスタディ

動向：バンカブルFSは1996年に完成し、政府の承認に引き続いて開発が1997年6月に始まった。1998年8月に最初の金が産出された。しかし鉱山は2000年6月に、政治的・社会的な部族間紛争により操業を停止した。過去の鉱山操業中の生産合計は表 5-1 のとおりである。

2005年5月、ソロモン諸島政府は、Australian Solomons Gold 社と公式契約を行い、Gold Ridge 鉱山が所有していた様々な権益を割り当てることを許可した。2006年1月に ASG 社は Charivunga Gorge 地域で 400m のボーリングを

2本実施した。それは コア長 29m、Au 3.17g/t、  
コア長 9m、Au 8.08g/t を含む多くの鉱兆を把握  
した。ASG は 2006 年に、現在の鉱山寿命を 10  
年間伸ばすという観点から、更なる探査を実施  
する計画である。再開のためのバンカブル FS  
は 2006 年 1 月に始まり、2006 年 9 月に完成す  
ることが予定されている。生産は推定  
150,000oz/年の金、2007 年開始を予定している。

この再開計画は、今のところ 4 月初旬の総選  
挙後に発生した暴動の影響を受けていない。

## ② Solomon Islands Gold/Copper プロジェクト

位 置 : Guadalcanal/Vangunu  
権 益 : Solomon Gold plc (operator) 100%  
鉱 種 : 金、銅  
開発段階 : Exploration  
動 向 :

Australian Resource Management (ARM) 社が  
1994 年 10 月に鉱業権を 100%獲得した。鉱業権  
は 1999 年 9 月に更新され、会社は JV のパート

ナーを探し始めた。2001 年 8 月に、Delta Gold  
社の子会社の Ross Mining が 80%の株を所有で  
きる短期間のオプションを譲渡された、しかし、  
フィールド活動は Gold Ridge 鉱山の再開に頼  
っていた。Placer Dome 社は Gold/Copper プロ  
ジェクトを 2002 年の一連の企業買収を経て獲  
得したが、2002 年 10 月に D' Aguilar Gold 社  
が ARM と探鉱ライセンスと鉱区 654 km<sup>2</sup> を含む  
買収に成功した。2003 年と 2004 年の間、部族  
間紛争によって探査は中断した。鉱業権は 2004  
年の 12 月にソロモン諸島政府によって更新さ  
れた。

2005 年 3 月、D' Aguilar Gold 社は、子会社  
の Solomon Gold 社を英国に上場するための計家  
苦を作り、Solomon Islands 探鉱ライセンスの  
所有権を ARM から Solomon Gold 社に 10.5 百万  
A\$ の Solomon Gold の株式と交換して移転した。  
Solomon Gold 社は、上場して資本金を増加させ、  
計画しているボーリングを開始する予定。

表 5-3. ソロモン諸島国の最近の探査動向

プロジェクト名	場所	鉱種	探査ステージ	埋蔵量/資源量	権益	最近の動向
Gold Ridge	Honiara 南東27km	Au	F/S	埋蔵量 : 1.6Moz 資源量 : 2.3Moz 能力:15万oz/y 生産開始:2006末 寿命:10y	Australian Solomons Gold (Aus)  (Michelago (Aus) (41%))	・ASG社は、400mボーリングを実施。 29m, 3.17g/tAu, 9m, 8.08g/t 埋蔵量獲得中。 ・中国の自社施設BioGoldで処 理予定 (2006/1/31)
Solomon Island	Guadalcanal/ Vangunu	Cu・Au	探鉱	N/A	Solomon gold plc (UK) (op) 100%	2005年、D' Aguilar社により 設立、2006年、ロンドン市場AIM に上場。近いうちにボーリング予 定。(2006/2/13)
Bougitu	-	Ni-Later ite	放棄	-	Pac Rim Resources Ltd (CAN)	-
Mase Gold	New Georgia?	Au	放棄	ボーリール・浅熱水性鉱 床鉱化確認(1999)	放棄	1999年、地質図、土壌サンプリング 実施。 2000年1月以降の情報なし

### (3) 主要製錬所

操業中の製錬所はない。

### 6. 我が国との関係

我が国からの投資及び経済援助は下表のとおり。

表 6. 我が国からのソロモン諸島国への投資及び援助実績

投資・援助	2004年度	2004年度までの累計
有償資金協力	なし	なし
無償資金協力	17.47億円	147.31億円
技術協力	2.27億円	70.22億円
直接投資		(22件) 76億円

出典：外務省「各国・地域情報」Web サイト

## 7. 国際会議等の実績

特記すべき事項なし。

## 8. その他トピックス

### (1) ソロモン諸島で暴動、Gold Ridge 金鉱山の再開への影響はなし

2006年4月初旬の総選挙後、同月18日の前副首相のリニ氏が新首相に選出されたことに反対する抗議デモが首都ホニアラの国会議事堂周辺に集まり暴徒化し、同月19日にかけて中華街

などで放火・略奪が発生した、ワイナ総督は、同日、夜間外出禁止令を出し、軍部隊110名を派遣した。また、同諸島政府の要請を受けて、オーストラリアは平和維持部隊80名、ニュージールランドは軍隊と警察官計60名を派遣。  
(2006/4/20)

オーストラリアの地元紙等によると、Gold Ridge 金鉱山(ソロモン諸島)の再開計画は、今のところこの暴動の影響を受けていない。  
(2006.6.20/シドニー事務所 久保田 博志)